

- 問1 細胞と組織について、誤っているのはどれか。
1. 細胞の有糸分裂は、前期、中期、後期、終期に分けられる。
 2. ヒトの染色体の数は、44本である。
 3. ミトコンドリアは、細胞に必要なエネルギーを産生する。
 4. 支持組織は、結合組織・軟骨組織・骨組織に大別される。
- 問2 筋肉について、正しいのはどれか。
1. 神経筋接合部で働く神経伝達物質は、ノルアドレナリンである。
 2. 筋の長さを変えない収縮は、等尺性収縮である。
 3. ミオグロビンの含有量が多い筋肉は、白筋である。
 4. 筋頭は、筋の両端のうち、身体を中心より遠い部分である。
- 問3 骨や関節の仕組みについて、誤っているのはどれか。
1. 骨膜は、骨の発育や再生に関与する。
 2. 黄色骨髄は、造血機能がある。
 3. 関節包の内側は、滑膜で覆われている。
 4. 骨質の内層は、海綿質である。
- 問4 神経系について、誤っているのはどれか。
1. 中枢神経系は、脳と脊髄からなる。
 2. 脳は、大脳・間脳・小脳・脳幹の各部からなる。
 3. 脳や脊髄は、硬膜・クモ膜・軟膜に包まれている。
 4. 脳神経は、14対ある。
- 問5 循環系について、正しいのはどれか。
1. 健康成人の安静時における心臓の1回拍出量は、約200mlである。
 2. 左心房には上下の大静脈と冠状静脈洞からの血液が入る。
 3. 胃・腸・脾臓・膵臓からの静脈は、合流して門脈となる。
 4. 心電図のQRS波は、心房の興奮に対応している。
- 問6 血液系について、誤っているのはどれか。
1. 成人の赤血球は、骨髄で作られる。
 2. 成人の赤血球の寿命は、約30日である。
 3. ヒトの血液型には、ABO型やRh型がある。
 4. 白血球は、炎症性疾患で増加する。
- 問7 呼吸系について、正しいものの組合せはどれか。
- a. 安静時の呼吸数は、健康な成人男性で毎分約5～10回である。
 - b. 肺は、右2葉、左3葉に分かれる。
 - c. 肺は、胸郭と横隔膜が囲む容積が広がれば自然と膨らむ。
 - d. 組織細胞と毛細血管内の血液との間で行われるガス交換を内呼吸という。
1. aとb 2. aとc 3. bとd 4. cとd

- 問8 消化器系について、正しいのはどれか。
1. 胃液のpHは6～7である。
 2. 膵液の消化酵素には、ペプシンがある。
 3. 肝臓は、グリコーゲンを合成する。
 4. 胆嚢は、胆汁を産生する。
- 問9 腎尿路系について、正しいのはどれか。
1. 健康な成人の1日の尿量は、約3,000～3,500 mlである。
 2. 尿は、腎盂(腎盂)、尿管、膀胱、尿道を経て排泄される。
 3. 左右の腎臓の位置は、右の方が高いことが多い。
 4. 腎単位(ネフロン)は、糸球体とボウマン嚢からなる。
- 問10 栄養素について、誤っているのはどれか。
1. 炭水化物は、糖質と食物繊維の総称である。
 2. 脂質のエネルギー値は、1gにつき9kcalである。
 3. たんぱく質は、組織を形成する栄養素である。
 4. ビタミンは、エネルギー源になる。
- 問11 ミネラルとその作用について、誤っている組合せはどれか。
1. ナトリウム(Na) ————— 酸・塩基平衡
 2. カルシウム(Ca) ————— 血液凝固
 3. カリウム(K) ————— 神経伝達機能
 4. 鉄(Fe) ————— 骨の形成
- 問12 疾患別の食事療法について、誤っているのはどれか。
1. 肝硬変では、ビタミンの摂取を控える。
 2. 急性膵炎では、脂肪の摂取を控える。
 3. 慢性腎臓病でたんぱく質を制限する場合は、十分なエネルギー量を確保する。
 4. 高尿酸血症(痛風)では、アルコール・たんぱく質の摂りすぎに注意する。
- 問13 次のうち、正しいのはどれか。
1. 下垂体前葉ホルモンは、甲状腺ホルモンの分泌を抑制する。
 2. 副甲状腺ホルモンは、血液中のカルシウム濃度の調節に関与している。
 3. 脂溶性ビタミンは、過剰症が起こりにくい。
 4. ビタミンB₂が欠乏すると、神経痛・神経炎・脚気の症状をきたしやすい。
- 問14 次のうち、正しいのはどれか。
1. 鉄剤はお茶と一緒に服用すると吸収が促進される。
 2. 抗血小板薬は、血小板の凝集作用を阻害する。
 3. エリスロポエチンは、悪性貧血の第1選択薬である。
 4. ワルファリンは、食物の影響を受けにくい。

- 問 15 次のうち、正しいのはどれか。
1. 器質性便秘には、大腸刺激性下剤が有効である。
 2. 食中毒による下痢には、止痢剤を用いる。
 3. 気管支喘息の発作による湿性咳には、鎮咳剤を用いる。
 4. ヘリコバクター・ピロリには、2剤の抗菌剤とプロトンポンプ阻害剤を併用した除菌療法を行う。
- 問 16 遺伝が関与していない先天異常はどれか。
1. マルファン症候群
 2. ダウン症候群
 3. フェニルケトン尿症
 4. 先天性風疹症候群
- 問 17 次のうち、誤っているのはどれか。
1. 運動選手の心臓肥大は、生理的肥大である。
 2. けがや病気で寝込んだ場合に、使わない筋肉が萎縮することを老人性萎縮という。
 3. 胆汁色素が全身の臓器に沈着した状態を黄疸という。
 4. 壊死組織に二次的に腐敗菌の感染が加わった状態を壊疽という。
- 問 18 次のうち、誤っているのはどれか。
1. 良性腫瘍の特徴として膨張性発育がある。
 2. 悪性腫瘍によるがん性腹膜炎は、リンパ行性転移が原因である。
 3. 高分化がんは、低分化がんよりも元の発生組織に似ている。
 4. シュニッツラー転移は、がんの直腸子宮窩の転移をいう。
- 問 19 血液・造血器疾患について、誤っている組合せはどれか。
1. 悪性貧血 ————— ビタミンB₁₂欠乏
 2. 再生不良性貧血 ————— 骨髄の機能不全
 3. 悪性リンパ腫 ————— フィラデルフィア染色体
 4. 血友病 ————— 伴性遺伝
- 問 20 次のうち、誤っているのはどれか。
1. 炎症の5徴候は、発赤・腫脹・発熱・疼痛・機能障害である。
 2. 急性炎症の特徴は、好中球が反応することである。
 3. 癒痕は、主に膠原繊維からなる組織である。
 4. 結核の肉芽腫は、ゴム腫とよばれる。
- 問 21 肝硬変について、誤っているのはどれか。
1. 肝組織の線維化が進んでいる。
 2. 門脈圧亢進症を引き起こす原因となる。
 3. 食道静脈にメズーサの頭と呼ばれる現象がみられる。
 4. 腹水や脾腫が認められることがある。

- 問 22 微生物について、正しいのはどれか。
1. 結核菌を発見したのは、北里柴三郎である。
 2. 真菌の大きさは、細菌より小さい。
 3. エボラ出血熱は、新興感染症である。
 4. ウイルスは、人工培地で培養できる。
- 問 23 現行の予防接種法における対象疾病でないのはどれか。
1. 日本脳炎
 2. 百日咳
 3. デング熱
 4. 急性灰白髄炎（ポリオ）
- 問 24 次のうち、手指の消毒に適さない消毒薬はどれか。
1. ポビドンヨード
 2. ベンザルコニウム塩化物（逆性石けん）
 3. グルタルアルデヒド（グルタラール）
 4. 消毒用エタノール
- 問 25 国際看護師協会（ICN）による「ICN看護師の倫理綱領」前文の看護師の4つの基本責任について、誤っているのはどれか。
1. 疾病の予防
 2. 疾病の治療
 3. 健康の回復
 4. 苦痛の緩和
- 問 26 倫理規定とその内容について、正しいものの組合せはどれか。
- | | | | |
|----|-----------|-------|-----------------|
| a. | 患者の権利章典 | _____ | 患者のもつ権利 |
| b. | ジュネーブ宣言 | _____ | 医師の倫理規定 |
| c. | ヘルシンキ宣言 | _____ | 生体実験に関する10か条の規範 |
| d. | ニュルンベルグ綱領 | _____ | 医学研究の倫理的原則 |
1. aとb 2. aとc 3. bとd 4. cとd
- 問 27 ストレスについて、誤っているのはどれか。
1. ストレッサーにさらされた生体に生じたゆがみである。
 2. ストレス反応に血圧上昇はみられない。
 3. セリエによって提唱された概念である。
 4. ストレスに対する対処行動をコーピングという。
- 問 28 フィンクの危機モデルの心理プロセスについて、正しいのはどれか。
- | | | | | | | | |
|----|----|---|-------|-------|-------|-------|----|
| 1. | 衝撃 | — | 承認 | _____ | 防衛的退行 | — | 適応 |
| 2. | 衝撃 | — | 適応 | _____ | 防衛的退行 | — | 承認 |
| 3. | 衝撃 | — | 防衛的退行 | — | 承認 | _____ | 適応 |
| 4. | 衝撃 | — | 防衛的退行 | — | 適応 | _____ | 承認 |

- 問 29 防衛機制の説明について、誤っているのはどれか。
1. 反動形成とは、自分の欲求を抑圧し、それと正反対の態度や行動をとることである。
 2. 同一化とは、自分にとって好ましい人物の特性や要素を自分のものにしようとすることである。
 3. 投影とは、早期の発達段階に戻ることである。
 4. 合理化とは、自分の信念や行動を正当化するために、もっともらしい理由をつけることである。

- 問 30 次のうち、正しいものの組合せはどれか。
- a. 学校医は、感染症に罹患した児童生徒を出席停止させることができる。
 - b. 母子保健法に基づく幼児の健康診査は、都道府県が行う。
 - c. 事業主は、常時使用する労働者に対して定期的に健康診断を行う義務がある。
 - d. 公的医療保険者は、40歳以上75歳未満の被保険者に対する特定健康診査を行う。
1. aとb 2. aとc 3. bとd 4. cとd

- 問 31 次の公的医療保険制度のうち、被用者保険でないのはどれか。
1. 船員保険
 2. 国民健康保険
 3. 組合管掌健康保険
 4. 全国健康保険協会管掌健康保険

- 問 32 次のうち、誤っているのはどれか。
1. 准看護師が業務上知り得た人の秘密は、准看護師でなくなった後においても漏らしてはならない。
 2. 准看護師は、業務独占である。
 3. 准看護師の免許を得た後、籍の訂正が生じた場合、60日以内に申請しなければならない。
 4. 准看護師は、免許を受けた後も臨床研修等を受ける努力義務がある。

- 問 33 法律とその内容について、正しい組合せはどれか。
1. 男女雇用機会均等法 介護休暇
 2. 労働基準法 育児休業
 3. 労働安全衛生法 健康診断
 4. 雇用保険法 労働者の災害補償

- 問 34 人間の成長発達の原則について、誤っているのはどれか。
1. 人間の発達は、末梢から中枢に向かって進む。
 2. 発達には、遺伝的因子と環境的因子が相互に影響する。
 3. 成長発達の過程は、器官によって一定のパターンがある。
 4. 器官が形成すべき時期に形成しないと、その器官に欠陥や障害が残る。

- 問 35 ナイチンゲールが定義する看護の内容として、誤っているのはどれか。
1. 窓を開け、新鮮な空気を入れ換えること。
 2. 窓から差し込む光の強さをカーテンで調整すること。
 3. 患者の嗜好を優先し、患者の嫌いな食べ物を病院の給食から外すこと。
 4. 日々の療養生活の様子を観察すること。
- 問 36 次のうち、誤っているのはどれか。
1. 看護管理とは、より質の高い看護サービスを提供するために、人的・物的・経済的資源を最大限有効に活用していくことである。
 2. プライマリ・ナーシングとは、1人の患者に対して複数の看護師がグループで関わる方式である。
 3. 看護業務を質的に評価するため、日本看護協会は「看護業務基準」を公表した。
 4. 臨床における看護ケアの質の向上には、看護研究の積み重ねが不可欠である。
- 問 37 次のうち、誤っているのはどれか。
1. 「ICN看護師の倫理綱領」の前文では、人権を尊重することが看護の本質として備わっていると明言されている。
 2. 日本看護協会の「看護者の倫理綱領」には、看護者の責務・専門職として引き受ける責任の範囲が明示されている。
 3. 「ナイチンゲール誓詞」は、ナイチンゲールがつくったものである。
 4. 「看護の基本となるもの」の著者は、ヴァージニア・ヘンダーソンである。
- 問 38 次のうち、正しいのはどれか。
1. 保健師助産師看護師法では、業務従事者に届出義務はない。
 2. 保健師助産師看護師法では、罰金以上の刑に処せられた者は、免許を与えられないことがある。
 3. 厚生労働大臣は、看護職者としての品位をそこなう行為のあった准看護師に対して、処分をすることができる。
 4. 准看護師は、医師の指示があれば薬剤の処方を行うことができる。
- 問 39 コミュニケーションについて、誤っているのはどれか。
1. 静かにくつろげる場所は、コミュニケーションを図るために良い環境である。
 2. 看護の実践の場では、マスコミュニケーションによる場合が多い。
 3. 顔の表情・声の調子・身振りは、非言語的コミュニケーションである。
 4. 患者と会話をするときには、目線を同じ高さにする。
- 問 40 バイタルサインの測定について、正しいのはどれか。
1. 呼吸数を測定することを患者に説明してから行う。
 2. 腋窩での体温測定は、体温計を体軸に対し90度の角度で挿入する。
 3. 血圧は、麻痺がある場合は健側で測定する。
 4. 脈拍測定は、橈骨動脈に示指・中指・環指を強くあてて測定する。

- 問 41 身体測定について、誤っているのはどれか。
1. 体重は、食事・排泄・着衣の状況で変動するので、測定条件を一定にすることが望ましい。
 2. 腹囲測定は、仰臥位で膝を屈曲させ、巻尺を臍の位置で床面と垂直になるように巻く。
 3. 女性の胸囲測定は、巻尺を背面の肩甲骨下角の直下にあて、前面は乳頭に関係なく水平にあてる。
 4. BMIは、体重(kg)／身長(m)²で算出する。
- 問 42 POS（問題志向型システム）の記録様式において、客観的情報はどれか。
1. おなかが痛いという患者の訴え
 2. 心拍数が1分間に80回という心電図モニターの数
 3. 昨夜、眠れなかったという患者の発言
 4. 今日はいつもと患者の様子が違うという家族からの情報
- 問 43 入院している患者の日常生活の援助について、誤っているのはどれか。
1. 患者の日常生活動作の自立度を確認する。
 2. 患者のQOL（生活の質）を考えながら援助する。
 3. 患者の成長・発達段階の過程を理解し援助する。
 4. 入院生活を病棟の日課に合わせるよう強制する。
- 問 44 看護過程における実施について、正しいのはどれか。
1. 計画に基づいて行う看護行為である。
 2. 患者の同意を得る必要がない。
 3. 患者や家族の反応は記録しない。
 4. 看護計画の変更や修正はできない。
- 問 45 災害における看護者の行動について、誤っているのはどれか。
1. 患者や面会者に対し、避難経路を説明しておく。
 2. 重症患者や自力で移動できない患者がわかるようにしておく。
 3. 車椅子の患者の避難には、エレベーターを使用する。
 4. 担架のある場所を明らかにし、すぐに使えるようにしておく。
- 問 46 輸送車（ストレッチャー）による患者の移送について、誤っているのはどれか。
1. 平らなところでは、頭から先に進む。
 2. 後ろを押す看護者は、患者の状態を観察する。
 3. 斜面を下る場合は、足から先に進む。
 4. 移送中は、できるだけ振動を避ける。
- 問 47 騒音による身体への影響について、誤っているのはどれか。
1. 胃液の分泌や胃の運動が亢進する。
 2. 呼吸数が増加する。
 3. 血圧や頭蓋内圧が高くなる。
 4. 90デシベル以上の騒音に長時間さらされると、難聴をきたす。

- 問 48 病衣(寝衣)の材質について、適切でないのはどれか。
1. 洗濯に耐える丈夫なもの
 2. 肌触りがよいもの
 3. 撥水(はっ水)性のよいもの
 4. 保温力のあるもの
- 問 49 食事の援助について、誤っているのはどれか。
1. 食事動作が不自由な患者には、できるだけ自分で食べられるように援助する。
 2. 食欲不振のある患者には、食べてみようという気持ちになったときに食事をすすめる。
 3. 嚥下障害がある患者には、口腔内で食塊を形成しやすい食品をすすめる。
 4. 麻痺がある患者には、麻痺のある側から食事を口腔内に入れる。
- 問 50 便秘のある患者の看護について、誤っているのはどれか。
1. 水分摂取をすすめる。
 2. 心理的緊張などの有無を確認する。
 3. 野菜や果物は控えるように指導する。
 4. 生活時間に合わせて、排便の習慣をつけることをすすめる。
- 問 51 清潔の援助について、正しいものの組合せはどれか。
- a. 入浴時に 45℃の湯を用いた。
 - b. 陰部洗浄時に 38℃の湯を用いた。
 - c. 熱布清拭時に 70℃の湯を用いた。
 - d. 洗髪時に 5%アルコールでドライシャンプーを行った。
1. aとb 2. bとc 3. bとd 4. cとd
- 問 52 次のうち、湿性罨法はどれか。
1. 氷枕
 2. 冷パップ
 3. 湯たんぽ
 4. 電気あんか
- 問 53 次のうち、鋭利な医療廃棄物を捨てる容器につけるバイオハザードマークの色はどれか。
1. 黒色
 2. 赤色
 3. 橙色
 4. 黄色

- 問 54 衛生的な手洗いについて、誤っているのはどれか。
1. 爪は短く切っておく。
 2. 液体石けんを使用する。
 3. 手洗いの最後は手首を洗う。
 4. 手洗い後は共用のタオルで拭く。
- 問 55 肘関節部の静脈から採血する方法について、正しいのはどれか。
1. 採血部位より末梢側を駆血する。
 2. 駆血帯を巻く前に手を握らせる。
 3. 採血針の抜去は駆血帯を外してから行う。
 4. 採血針の抜去後は採血部位をよく揉む。
- 問 56 与薬について、誤っているのはどれか。
1. 看護者は、医師の処方箋により、患者・薬剤・量・経路・時間を確認する。
 2. 患者確認は、本人に名乗ってもらうなどして行う。
 3. 経口的に投与する麻薬は、他の内服薬と一緒に保管する。
 4. 退院時も、確実に服用できるような方法を指導する。
- 問 57 輸血について、誤っているのはどれか。
1. 自己血輸血は、輸血による感染や副作用の予防に有効である。
 2. 血小板製剤は、2～6℃で保管する。
 3. 静脈に留置針が挿入されていることを医師が確認する。
 4. 輸血セットを用いる。
- 問 58 経管栄養について、誤っているのはどれか。
1. 経管栄養法による栄養摂取をしている患者には、口腔ケアの必要性はない。
 2. 経鼻チューブ固定の圧迫による鼻中隔や鼻翼の潰瘍形成に注意する。
 3. チューブの注入口には、誤接続防止のための専用アダプターをつける。
 4. 浸透圧の高い栄養剤は、下痢を起こしやすい。
- 問 59 中心静脈栄養について、誤っているのはどれか。
1. カテーテル刺入時の体位は、仰臥位で頭を高く保つ。
 2. カテーテル刺入時は、医療者は帽子・サージカルマスク・滅菌手袋・滅菌ガウンをつけて実施する。
 3. カテーテル挿入部位の発赤・硬結・疼痛を観察する。
 4. 高カロリー輸液の急速な滴下は、高血糖や反動による低血糖をもたらすおそれがある。
- 問 60 胃洗浄について、適切なのはどれか。
1. 成人の場合、6号の胃管を用いる。
 2. 40℃の洗浄液を準備する。
 3. 注入する洗浄液の1回量は、1ℓ以上である。
 4. 患者の体位は左側臥位にする。

- 問 61 腰椎穿刺時の看護について、誤っているのはどれか。
1. 側臥位にした患者の腹部側から、膝と頸部を抱え込む体位に固定する。
 2. 医師が無菌操作で実施できるように介助する。
 3. 「検査終了直後から、歩行してよい」と患者に説明する。
 4. 副作用として、頭痛や嘔吐の有無を観察する。
- 問 62 成人の一時的吸引（気道吸引）について、誤っているのはどれか。
1. 気管内分泌物を吸引する場合の圧は、100～200mmHg（-13.3～-26.6kPa）に設定する。
 2. 分泌物を吸引するときは、カテーテルを動かさずに行う。
 3. 1回の吸引時間は、10～15秒以内にする。
 4. 吸引後は、カテーテルの外側を消毒綿で拭き、内側に洗浄液を通す。
- 問 63 死後の処置について、誤っているのはどれか。
1. 医師が死亡を確認した後、直ちに家族を部屋から出して処置を行う。
 2. 始める前に宗教や慣習などに配慮することがないか家族に確認する。
 3. 死者の尊厳を守る敬けんな態度で行う。
 4. 詰め物をする場合は、外観が崩れないようにする。
- 問 64 継続看護について、誤っているのはどれか。
1. その人にとって必要なケアを、必要なときに、必要なところで、適切な人によって受けることのできるシステムである。
 2. 必要な情報の管理・取扱いは、個人情報保護法に則ったガイドラインに沿って実施する。
 3. 在宅療養者の場合では、マンパワーの状況や家屋構造などの情報を得ておく。
 4. 退院計画は、退院が決まった時に検討を始める。
- 問 65 貧血のある患者の看護について、誤っているのはどれか。
1. 原因により治療や対処の方法が異なる。
 2. めまいや立ちくらみがある場合には安静を保持する。
 3. 医師の指示により、酸素吸入を行う。
 4. 低たんぱくの食事が望ましい。
- 問 66 発熱のある患者の看護について、正しいのはどれか。
1. 悪寒がある場合は、温覆法を実施する。
 2. 水分の摂取は控える。
 3. 冷水で清拭を行う。
 4. 歯磨きは体力を消耗するので行わない。
- 問 67 次のうち、誤っているのはどれか。
1. 休みながらでなければ50m以上歩けない場合、ヒュー-ジョーンズの分類ではⅡ度で示す。
 2. 吸気時の喘鳴は、主に上気道の狭窄が原因である。
 3. 肺線維症では、捻髪音を聴取する。
 4. 慢性呼吸不全では、頸静脈の怒張がみられることがある。

- 問 68 痰の性状と主な疾患について、誤っている組合せはどれか。
1. 漿液性痰 _____ 気管支喘息
 2. 粘液性痰 _____ 気胸
 3. 膿性痰 _____ 気管支拡張症
 4. 血性痰 _____ 肺結核
- 問 69 痛みのある患者の看護について、正しいのはどれか。
1. 痛みを訴えないときは、看護介入は必要ない。
 2. 痛みのレベルをジャパニーズコーマースケール（JCS）で評価する。
 3. 急性炎症による痛みには、温電法を実施する。
 4. 痛みによる随伴症状を観察する。
- 問 70 出血傾向のある患者とその看護について、誤っているのはどれか。
1. 硬い歯ブラシを使うように説明する。
 2. 脳出血や消化管出血など、重篤な合併症を起こすおそれがある。
 3. 柔らかい寝具・リネン類を用いる。
 4. 鼻を強くかんだり、排便時に強くいきまないように指導する。
- 問 71 浮腫のある患者の看護について、正しいのはどれか。
1. 食事は塩分を多めにする。
 2. 胸水があれば腹臥位をすすめる。
 3. 利尿薬は就寝前に服用させる。
 4. 飲水量と尿量を記録する。
- 問 72 次のうち、嘔気や嘔吐を起こしにくい疾患はどれか。
1. 脳腫瘍
 2. メニエール病
 3. 甲状腺機能低下症
 4. 食中毒
- 問 73 安静療法について、誤っているのはどれか。
1. エネルギーの消費を減少させる。
 2. 肝血流量を減少させる。
 3. 呼吸器系への負担を軽減させる。
 4. 心負荷を軽減させる。
- 問 74 次のうち、誤っているのはどれか。
1. 病院食は、一般治療食と特別治療食に分類される。
 2. 流動食は、特別治療食である。
 3. 病院食の必要性和意義を患者に説明する。
 4. 栄養サポートチーム（NST）とは、栄養管理全般を実践するチームである。

- 問 75 血液透析について、誤っているのはどれか。
1. 導入期の看護は、透析の必要性を患者や家族に理解してもらうことである。
 2. 導入期は、透析中から終了後に廃用症候群を起こしやすくなる。
 3. 透析中は、通常ではヘパリンナトリウムが使用される。
 4. 透析実施前後には、体重測定を行う。
- 問 76 次のうち、正しいのはどれか。
1. 手術を受ける患者に前投薬を行った後は、自由に歩行させてよい。
 2. 全身麻酔では、手術直前まで水分を摂取させてよい。
 3. 手術後の排ガスは、消化管の機能回復の重要な徴候である。
 4. 手術後の早期離床は、術後合併症を起こしやすい。
- 問 77 壮年期または中年期の特徴について、誤っているのはどれか。
1. 身体的にも心理社会的にも成熟した時期である。
 2. ハヴィガーストの発達課題では、配偶者の死に適応することである。
 3. 糖代謝が低下する傾向があり、肥満をきたしやすい。
 4. 職場や家庭での役割の喪失感を体験する時期である。
- 問 78 平成 24 年 (2012 年) の人口動態統計による年代と死因順位第 1 位について、正しい組合せはどれか。
1. 20～29 歳 ————— 不慮の事故
 2. 30～39 歳 ————— 自殺
 3. 40～49 歳 ————— 心疾患
 4. 50～59 歳 ————— 脳血管疾患
- 問 79 慢性疾患の患者の特徴について、誤っているのはどれか。
1. 自覚症状がない長い経過を経て発症しやすい。
 2. 急性増悪することがある。
 3. 職場や家庭での役割の継続が困難になることがある。
 4. 生活習慣の修正や治療の継続は一時的なものである。
- 問 80 呼吸器の主な検査について、正しいのはどれか。
1. スパイロメトリーを受ける患者には、息を軽く吸ってゆっくり吐くように説明する。
 2. パルスオキシメーターは、静脈血中の酸素飽和度を測定することができる。
 3. 結核菌の塗沫検査の評価は、ガフキー号数 0～5 に区分して行われる。
 4. 動脈血ガス分析の穿刺部位として、橈骨動脈が用いられる。
- 問 81 肺がんについて、正しいのはどれか。
1. 腺がんは、肺門部の太い気管支に発生しやすい。
 2. 女性の肺がんは、扁平上皮がんが最も多い。
 3. 小細胞がんは、転移を起こす頻度が低い。
 4. 扁平上皮がんは、喫煙との関係が深い。

- 問 82 肺切除術を受ける患者の看護について、誤っているのはどれか。
1. 手術前に腹式呼吸を練習する。
 2. 手術前日までは食事摂取ができることを説明する。
 3. 手術直後は、胸腔ドレーンからの出血量に注意して観察する。
 4. 胸腔ドレーン抜去後から上肢の挙上運動を開始する。
- 問 83 右心不全の主要な症状について、正しいのはどれか。
1. 呼吸困難
 2. 喘鳴
 3. 浮腫
 4. 起座呼吸
- 問 84 虚血性心疾患を発症する冠危険因子でないのはどれか。
1. 飲酒
 2. 脂質異常症
 3. 糖尿病
 4. 高血圧
- 問 85 高血圧症とその看護について、正しいものの組合せはどれか。
- a. 日本高血圧学会の 2014 年ガイドラインによる高血圧とは、収縮期血圧 130 mm Hg 以上、拡張期血圧 90 mm Hg 以上をいう。
 - b. 原因には、内分泌（ホルモン）産生器官の疾患によるものがある。
 - c. 降圧薬を服用している患者には、食事制限の必要がないことを説明する。
 - d. 禁煙指導を行う。
1. aとb 2. aとc 3. bとd 4. cとd
- 問 86 循環器疾患患者の生活指導について、誤っているのはどれか。
1. 呼吸困難が出現したときは、体位を起坐位にする。
 2. 食事では、主にたんぱく質を制限する。
 3. 入浴は、ぬるめの湯で、できる限り短い時間にする。
 4. ジギタリス薬を服用している場合は、食欲不振や不整脈に注意する。
- 問 87 胃切除術を受けた患者の看護について、誤っているのはどれか。
1. 手術後 1 日目より、患者の状態に合わせて離床をすすめる。
 2. 縫合不全の徴候がないか観察する。
 3. 食事は、1 日の必要量を 5～6 回に分ける。
 4. 食後は、すぐに仰臥位になるように促す。
- 問 88 潰瘍性大腸炎の患者の看護について、誤っているのはどれか。
1. 食物繊維が多い食品を摂取するようにすすめる。
 2. 感染予防に努める。
 3. 心身の安静を保持する必要性を説明する。
 4. 長期にわたり自己管理が必要であることを説明する。

- 問 89 急性肝炎の患者の看護について、誤っているのはどれか。
1. 安静療法の重要性を説明する。
 2. 見当識障害・羽ばたき振戦の有無を観察する。
 3. 黄疸があるときは、衣類の調整をする。
 4. 嘔気があるときは、胃部に温罨法を行う。
- 問 90 化学療法を受けた急性白血病の患者の看護について、誤っているのはどれか。
1. 抗がん剤投与後1週間以降は、アナフィラキシー症状に注意する。
 2. 白血球数が $1,000/\mu\text{l}$ 以下、好中球が $500/\mu\text{l}$ 以下のときは、面会を制限する。
 3. うがいを促し、口腔内の清潔に努める。
 4. 頭髪の脱毛については、化学療法が終了したら再び生えてくることを説明する。
- 問 91 骨髄検査を受ける患者の看護について、正しいものの組合せはどれか。
- a. 局所麻酔を行うため、痛みはないことを説明する。
 - b. 検査終了後は、10分間安静臥床するように説明する。
 - c. 検査終了後は、穿刺部の出血の有無を観察する。
 - d. 検査当日は、入浴しないように説明する。
1. aとb 2. aとc 3. bとd 4. cとd
- 問 92 甲状腺機能亢進症の患者とその看護について、誤っているのはどれか。
1. 高カルシウム血症になりやすい。
 2. 眼球突出がみられる場合がある。
 3. 規則正しい内服を継続する必要があることを説明する。
 4. 心身の安静を保つように指導する。
- 問 93 糖尿病の患者とその看護について、正しいのはどれか。
1. フットケアの指導では、深爪をしないように説明する。
 2. 食事療法の原則は、指示エネルギー量の約20%を糖質からとる。
 3. HbA_{1c}は、過去6か月の平均血糖値を反映している。
 4. インスリン注射は、食事が摂れない場合、自己判断で中止するように指導する。
- 問 94 内分泌・代謝疾患の患者の看護について、正しいのはどれか。
1. 糖尿病の運動療法は、食前30分に行うように指導する。
 2. 甲状腺手術の直後は、頸部は伸展位とする。
 3. 甲状腺機能亢進症で放射性ヨード取込み試験を行う場合は、海藻類を制限する。
 4. クッシング症候群の患者の食事は、低カリウム食とする。
- 問 95 膠原病の患者の看護について、誤っているのはどれか。
1. レイノー現象を伴う場合は、寒冷刺激を避けるように指導する。
 2. 急性期には、運動量の多いリハビリテーションをすすめる。
 3. 慢性期には、悪化因子となる感染症や疲労を避けるように指導する。
 4. 退院後の生活の不安への援助として、社会資源・社会保障制度を紹介する。

- 問 96 全身性エリテマトーデス（SLE）患者の看護について、誤っているのはどれか。
1. 尿量・たんぱく尿・浮腫を観察する。
 2. 副腎皮質ステロイド薬の副作用として、体重減少がみられると説明する。
 3. 直射日光を避けるように指導する。
 4. 十分な睡眠と休息をとるように指導する。
- 問 97 頭部外傷の患者の看護について、誤っているのはどれか。
1. 頭蓋底骨折の疑いがある場合は、頭部を少し挙上し、安静を保つ。
 2. 耳孔から出血や髄液漏がある場合は、タンポンなどで栓をする。
 3. 瞳孔不同は、脳ヘルニアの徴候として重要である。
 4. 意識レベルは、グラスゴーコーマスケール（GCS）で評価できる。
- 問 98 次のうち、正しいのはどれか。
1. 頭部コンピュータ断層撮影（CT）では、急性期の血腫は白く見える。
 2. 脳波検査時は、整髪料をつけたままでもよい。
 3. MRI検査時は、クレジットカードを患者の身につけていてもよい。
 4. 脳血管造影検査終了後は、安静は必要ない。
- 問 99 慢性腎不全について、誤っているのはどれか。
1. 原因は、糖尿病性腎症と糸球体腎炎が多い。
 2. 腎機能の低下のみで自覚症状が認められない状態がある。
 3. 高血圧がある場合は、降圧薬治療によって腎機能障害の進行防止に努める。
 4. 血液中の尿素窒素やクレアチニンが著しく低下した場合、透析療法が必要となる。
- 問 100 経尿道的前立腺切除術を受ける患者の看護について、正しいのはどれか。
1. 自覚症状を客観的に把握するため、国際前立腺症状スコアを用いる。
 2. 手術後は高ナトリウム血症の徴候を観察する。
 3. 手術後の尿失禁に対し、腹筋を鍛える運動を指導する。
 4. 手術後は座位で長時間過ごしてよいと説明する。
- 問 101 運動器疾患の患者の特徴について、誤っているのはどれか。
1. 大事故による骨折の際には、呼吸障害やショック状態を起こすことがある。
 2. 人工膝・股関節置換術後は、深部静脈血栓症が発症しやすい。
 3. 変形は、心理的な問題を引き起こすことはない。
 4. 患部の固定や安静のために、一定期間、日常生活の自立度が低くなる。
- 問 102 運動器疾患の治療を受ける患者の看護について、誤っているのはどれか。
1. ギプス包帯による固定中は、固定肢の神経障害・循環障害の有無を観察する。
 2. ギプス包帯による固定中は、ベッド上では固定肢は挙上する。
 3. 下肢牽引中の患者の足の保温は、牽引のひもの上から毛布を掛ける。
 4. 下肢の牽引では、腓骨神経麻痺の予防と観察を行う。

- 問 103 大腿骨頸部骨折とその患者の看護について、誤っているのはどれか。
1. 外側骨折では、人工骨頭置換術が行われる。
 2. 手術前は、排泄援助を受けることを気にして、飲水を控える患者もいるため、脱水に注意する。
 3. 手術後は、リハビリテーションへの意欲が維持できるように励まし支える。
 4. 手術前・手術後を通して、褥瘡・尿路感染などの合併症予防に努める。
- 問 104 子宮の腫瘍について、誤っているのはどれか。
1. 定期的な子宮頸がん検診は、進行がんを防ぎ、死亡率の低下につながる。
 2. 子宮頸がんが骨盤壁または膈下部 1/3 に達すると、臨床進行期は 2 期である。
 3. 子宮体がんの症状としては、不正出血・帯下の増量が代表的である。
 4. 子宮体がんの危険因子として、不妊症・遅い閉経年齢・肥満などがあげられる。
- 問 105 不妊症について、誤っているのはどれか。
1. 女性側の原因として、子宮の障害が最も多い。
 2. 男性側の原因として、造精機能障害が最も多い。
 3. 卵管疎通性検査を行う場合は、患者に目的・内容、特に疼痛について十分に説明する。
 4. 治療にあたっては、夫婦間の協力が不可欠である。
- 問 106 感染症と主な感染経路について、正しい組合せはどれか。
1. インフルエンザ _____ 接触感染
 2. 百日咳 _____ 空気感染
 3. 流行性耳下腺炎 _____ 接触感染
 4. 水痘 _____ 空気感染
- 問 107 標準予防策について、正しいのはどれか。
1. 手袋を着用する場合は、手洗いの必要はない。
 2. 粘膜や傷のある皮膚に触るときに、手袋を着用する。
 3. 使用後の注射針は、キャップをして捨てる。
 4. 飛沫感染が疑われる患者は、他の患者と 50～60cm 離す。
- 問 108 植皮術を受けた患者の看護について、正しいのはどれか。
1. 採皮部は、サポーターなどで圧迫固定する。
 2. 植皮部は、手術直後から積極的に動かす。
 3. 植皮部は、直接日光にあててもよい。
 4. 植皮部の血行は、約 3 日間で回復する。
- 問 109 帯状疱疹の患者の看護について、誤っているのはどれか。
1. 過労は避け、安静を保つように指導する。
 2. 入浴は避け、短時間のシャワー浴をする。
 3. 痛みが強い場合は、鎮痛剤を使用する。
 4. 水疱治癒後には、神経痛は消失すると説明する。

- 問 110 次のうち、誤っているのはどれか。
1. 眼底検査は、暗室内で行う。
 2. 視野異常の種類には、狭窄・暗点・半盲がある。
 3. 白内障は、老人性白内障が最も多い。
 4. 霰粒腫は、眼瞼の分泌腺の急性化膿性炎症である。
- 問 111 次のうち、誤っているのはどれか。
1. 鼻出血により口腔内に流れ込んだ血液は、飲み込まず吐き出すように説明する。
 2. 老人性難聴は、伝音性難聴である。
 3. メニエール病でめまいが起きているときは、楽な体位をとり、照明を暗くする。
 4. 声帯ポリープ患者は、喉頭の安静のため発声制限をする。
- 問 112 次のうち、誤っているのはどれか。
1. 歯垢や歯石は、歯周病の原因となる。
 2. 抜歯当日は、指や舌で創部に触れないように指導する。
 3. 顎間固定中の患者に、口腔内の保清のため含嗽法などを指導する。
 4. 口腔領域の悪性腫瘍では、悪性リンパ腫が多い。
- 問 113 わが国の人口について、正しいのはどれか。
1. 後期高齢者とは、75歳以上の者をいう。
 2. 高齢化率は、30%を超えている。
 3. 男性の平均寿命は、女性より長い。
 4. 高齢者人口の比率が14%を越えると高齢化社会という。
- 問 114 介護保険制度について、正しいのはどれか。
1. 第1号被保険者は、65歳以上である。
 2. 要介護認定は、都道府県が行う。
 3. 要介護度は、3段階に区分される。
 4. サービスを利用した場合は、3割が利用者負担となる。
- 問 115 訪問看護について、正しいのはどれか。
1. サービスの提供場所は、自宅のみである。
 2. 訪問看護ステーションは、国の指定を受ける必要がある。
 3. 訪問看護ステーションには、看護職しか従事できない。
 4. かかりつけ医の指示に基づいて、サービスを提供する。
- 問 116 高齢者の皮膚とそのケアについて、誤っているのはどれか。
1. 皮膚が乾燥し、掻痒感を生じやすい。
 2. 骨突起部である仙骨部や大転子部に褥瘡が発生しやすい。
 3. 発赤がある場合は、発赤部のマッサージを行う。
 4. 失禁によりオムツを装着している場合は、汚れるたびに洗浄や清拭を行う。

- 問 117 高齢者の睡眠の援助について、誤っているのはどれか。
1. 夜間の排尿が安心してできるように、希望に応じてポータブルトイレなどを準備する。
 2. 不安で会話を望む場合は、話を傾聴し、不安の軽減に努める。
 3. 不眠対策のため、1時間以上の仮眠をとる。
 4. 睡眠薬を服用している場合は、起床後の歩行障害やふらつきの有無を観察する。
- 問 118 終末期の患者とその家族への関わり方について、誤っているのはどれか。
1. 家族の経済的負担や心身の疲労への配慮をする。
 2. 延命処置の意向は、事前に家族のみに確認する。
 3. 患者と家族が、その人の人生を振り返り、語り合えるような時間を確保する。
 4. 急変時や緊急事態に備え、十分に観察する。
- 問 119 高齢者の身体的変化について、正しいのはどれか。
1. 肺胞表面積が増加する。
 2. 細胞内水分が増加する。
 3. 消化液の分泌が増加する。
 4. 尿細管の水分吸収能力が低下する。
- 問 120 骨粗鬆症とその患者の看護について、正しいのはどれか。
1. 男性は女性に比べて発生頻度が高い。
 2. 予防のためには、運動の習慣をつけるように指導する。
 3. 尻もちをついたときに起こりやすい骨折は、大腿骨頸部骨折である。
 4. 履物は、着脱が容易な大きめのサイズのものを選ぶように指導する。
- 問 121 高齢者の疾病の特徴について、誤っているのはどれか。
1. 複数の疾患を有していることが多い。
 2. 典型的な症状が出現しやすい。
 3. 機能障害を起こしやすい。
 4. 合併症を併発しやすい。
- 問 122 検査を受ける高齢者の看護について、誤っているのはどれか。
1. 検査の説明は口頭だけでなく、パンフレットなども活用する。
 2. 検査に不安のある患者には、検査中はなるべく言葉かけをしないようにする。
 3. 体位の保持は、検査に支障がない範囲で、安楽な体位の工夫を行う。
 4. 検査台への移動は、急がせないよう患者のペースに合わせて行う。
- 問 123 高齢者の入浴時の看護について、誤っているのはどれか。
1. 空腹時や食事直後は、入浴を避ける。
 2. 浴室・脱衣室の温度差に注意する。
 3. 浴室の椅子は、浴槽の高さより低いものを使用する。
 4. 浴槽はすべりやすいので、手すりや吸盤マットを置く。

- 問 124 認知症患者の看護とその家族の援助について、誤っているのはどれか。
1. 認知症の患者をかかえる家族の疲労や葛藤を理解して関わる。
 2. 食事では、患者の視野の範囲に食事以外のものを置かないように指導する。
 3. 間違っただけを話したときは、否定して注意するように指導する。
 4. 徘徊時には、無理に引き止めず、安全を配慮して見守るように指導する。
- 問 125 高齢者の老化現象の特徴について、誤っているのはどれか。
1. すべての人に起こるものである。
 2. 進行性に退行性変化を起こしていく。
 3. 可逆的な変化である。
 4. 老化の過程は、遺伝子により既定されている。
- 問 126 高齢者の口腔内の特徴とそのケアについて、誤っているのはどれか。
1. 唾液の分泌が増加する。
 2. 食物残渣が停滞しやすい。
 3. 歯磨きと歯肉マッサージを併せて行うように指導する。
 4. 義歯は、専用の容器に水を入れて保管する。
- 問 127 妊娠の生理について、正しいのはどれか。
1. 受精は、子宮で行われる。
 2. 臍帯の中には、臍動脈が2本、臍静脈が1本ある。
 3. 卵膜は、脱膜・絨毛膜・漿膜の3層からなる。
 4. 羊水は、弱酸性である。
- 問 128 分娩第1期の看護について、誤っているのはどれか。
1. 子宮口が3～5cm開大するまでは、安楽な姿勢で過ごす。
 2. 排尿は、2～4時間ごとに試みるように促す。
 3. 陣痛間欠時には、努責を促す。
 4. 産痛の緩和として、マッサージや圧迫法を行う。
- 問 129 妊婦の生活指導について、誤っているのはどれか。
1. 乳房の手当ては、産後から始める。
 2. 長時間の歩行や立ったままの姿勢は避けるように指導する。
 3. 靴は踵が太く幅は広めで、高さは2～3cmのものを選ぶ。
 4. 非妊時に常用していた薬剤の使用は、医師に相談してから用いる。
- 問 130 褥婦の生理的変化について、正しいのはどれか。
1. 子宮の大きさや重さなどは、2～3週間で非妊時に戻る。
 2. 初乳には、免疫グロブリンAが多く含まれる。
 3. 哺乳刺激は、エストロゲンの分泌を促す。
 4. 後陣痛は、経産婦より初産婦に強く現れる。

- 問 131 褥婦とその看護について、正しいのはどれか。
1. 分娩直後から母乳は多量に分泌する。
 2. 直接授乳は、子宮復古を遅延させる。
 3. 産褥体操は、退院後から行う。
 4. 不安の訴えや抑うつ気分の有無を観察する。
- 問 132 新生児の生理について、正しいものの組合せはどれか。
- a. 胎児循環は、出生時の呼吸開始とともに停止し、新生児循環に移行する。
 - b. モロー反射は、新生児期を過ぎると消失する。
 - c. 出生直後の呼吸は、腹式呼吸である。
 - d. 心拍数は、出生 24 時間後には 160～180 回/分となる。
1. aとb
 2. aとc
 3. bとd
 4. cとd
- 問 133 離乳の完了として、正しいのはどれか。
1. 咀嚼機能が完成した状態をいう。
 2. 母乳または育児用ミルクを飲んでいない状態をいう。
 3. なめらかにすりつぶした状態のものを摂取できるようになった状態をいう。
 4. エネルギーや栄養素の大部分を食物から摂取できるようになった状態をいう。
- 問 134 学校保健安全法に規定されている水痘に罹患した場合の出席停止の期間の基準はどれか。
1. 赤い小丘疹が消失するまで
 2. すべての発疹が痂皮化するまで
 3. 咳嗽が消失するまで
 4. 解熱するまで
- 問 135 小児の血液中の免疫グロブリンG値が成人値に達する年齢の目安として、適切なのはどれか。
1. 1歳
 2. 2歳
 3. 4歳
 4. 6歳
- 問 136 乳歯の萌出順位について、原則として最初に生えるのはどれか。
1. 下顎犬歯
 2. 下顎中切歯
 3. 上顎第1乳臼歯
 4. 上顎側切歯

- 問 137 幼児の身体発育について、正しいのはどれか。
1. カウプ指数 16 は、正常範囲内である。
 2. 肥満度 10% は、肥満である。
 3. 生殖器系の発育速度は、幼児期に最大になる。
 4. 手根骨の化骨数は、9 個である。
- 問 138 標準的な発育をしている児について、体重が出生時の約 2 倍になる月齢はどれか。
1. 1 か月
 2. 4 か月
 3. 9 か月
 4. 12 か月
- 問 139 統合失調症の陽性症状について、誤っているのはどれか。
1. 幻聴
 2. 思考化声
 3. 感情鈍麻
 4. させられ体験
- 問 140 うつ病の特徴的な症状について、誤っているのはどれか。
1. 昏迷状態
 2. 貧困妄想
 3. 自律神経症状
 4. 易刺激性
- 問 141 脳血管性認知症について、正しいのはどれか。
1. 高齢者の認知症で最も多い。
 2. 症状の偏りが大きい場合を、まだら認知症という。
 3. 早期には人格の変化が目立つ。
 4. 感情は安定している。
- 問 142 アルコール関連障害について、正しいのはどれか。
1. アルコール依存症では、抗酒剤による治療が中心となる。
 2. アルコール関連障害の振戦せん妄では、作話を伴うことが多い。
 3. アルコール幻覚症の主な症状は、体感幻覚である。
 4. 嫉妬妄想がみられる。
- 問 143 せん妄について、誤っているのはどれか。
1. さまざまな身体疾患が原因となる。
 2. 主な症状は意識障害である。
 3. 幻覚を伴うこともある。
 4. 日中に悪化することが多い。

- 問 144 「精神病者の解放」で著名な医師はどれか。
1. エミール・クレペリン
 2. フィリップ・ピネル
 3. 呉 秀三
 4. ヒポクラテス
- 問 145 精神科に入院中の患者について、どのような場合でも行うことのできない行動制限はどれか。
1. 保護者との電話
 2. 地方法務局人権擁護機関への電話
 3. 任意入院患者の自由な外出
 4. 医師の指示による6時間の隔離
- 問 146 うつ病の患者の看護について、誤っているのはどれか。
1. 患者のつらい気持ちを受けとめる。
 2. 回復期における自殺に注意する。
 3. 励ましは、悲観的感情を改善させる。
 4. 重度のうつ状態では、日常生活援助を必要とする場合が多い。
- 問 147 生活技能訓練について、誤っているのはどれか。
1. 運動機能の維持・回復のための訓練である。
 2. 相手を傷つけずに自分の要求を伝える方法を身につける訓練である。
 3. 不快な精神症状への対処方法を身につける訓練である。
 4. 日常生活の様々な場面を設定し、繰り返し行う訓練である。
- 問 148 てんかんの患者のけいれん発作時の対応について、正しいものの組合せはどれか。
- a. 発作の持続時間を観察した。
 - b. 衣服の緊縛を保った。
 - c. 外傷を防ぐため、患者の上下肢を軽くおさえた。
 - d. 舌圧子を口腔内に挿入した。
1. aとb 2. aとc 3. bとd 4. cとd
- 問 149 次のうち、誤っている組合せはどれか。
1. フロイト _____ 精神分析法
 2. ボウルビー _____ 愛着行動
 3. エリクソン _____ 発達理論
 4. ピアジェ _____ リビドー理論
- 問 150 精神看護について、誤っているのはどれか。
1. 看護の範囲は、病院・施設・地域ケアに及ぶ。
 2. 人間関係が基盤である。
 3. ラポールは、看護者と患者の間で意思疎通ができ、信頼関係が結ばれることである。
 4. 患者を理解するために、看護者自身が自己の傾向を知る必要はない。

